

代表・一般質問

市政を問う!

◎ 代表質問

柴田 輝明 「令和2年度施政方針並びに予算案大綱」
(とよかわ未来)

中川 雅之 「令和2年度施政方針並びに予算案大綱」
(公明党市議団)

安間 寛子 「令和2年度施政方針」「令和2年度の予算案大綱」
(日本共産党豊川市議団)

◎ 一般質問

井川 郁恵 「認知症施策」

横田 光正 「公共施設適正配置計画のリーディング事業」「河川の安全と橋梁(りょう)の管理」

太田 直人 「市内南部地域における安全・安心なまちづくり」

佐藤 郁恵 「災害に強いまちづくり」「地球温暖化対策・CO₂の削減」「医療・介護・全世代型社会保障の問題点と対策」

倉橋 英樹 「保育園及び清掃工場での使用済み紙おむつの処理」

富田 潤 「保育」「感染症対策」

奥澤 和行 「本市の観光ビジョン」

佐々木和美 「市民病院の取り組み」

中村 浩之 「期日前投票所の増設及び投票区・投票所の見直し結果」「多文化共生社会に向けた取り組み」

加藤 典子 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」

神原 洋二 「本市の消防・防災への取り組み」

今泉 淳乙 「放課後児童健全育成事業」「保育所」

神谷謙太郎 「市内の交通安全対策」



代表質問とは?

各会派から1名代表して、市長の予算案大綱説明及び所信表明・施政方針に対して質問することです。質問時間の制限はなく、一括方式(質問回数3回)で行っています。

一般質問とは?

議員が、市の行政全般にわたって、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などを質問することです。質問時間は30分(答弁の時間は除く)で、一括方式(質問回数3回)または、一問一答方式(質問回数無制限)で行っています。

ここに掲載した代表・一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくは、ホームページで公開するインターネット中継(録画)、会議録をご覧ください。



御津1区・2区工業団地

【問】2年度予算編成で特に留意した点や特徴、重点施策は。
【答】マニフェスト工程計画を実行に移す重要なもので、積極財政で編成した。3つの基本理念、10の戦略に沿った、八幡地区のまちづくりの推進や保育環境の改善等に取り組む。

2年度施政方針並びに 予算案大綱について

とよかわ未来代表 柴田輝明



【問】企業誘致と雇用創出の取り組みは。

【答】御津1区は誘致に積極的に取り組み、白鳥地区の整備に向けた交渉、次の候補地の検討を行う。大型商業施設進出に伴う既存事業者への支援策も含めた産業支援の在り方の検討に向け、商工会議所等と意見交換を行う。

【問】総合保健センター(仮称)の整備に向けた考えは。

【答】医療・健康対策の拠点、児童発達支援センター等併設の複合型施設としての整備指針等をまとめ、2年度に基本構想、3年度に基本計画を策定予定。



地域共生社会の実現に対する 今後の取り組みは

公明党市議団代表 中川雅之



【問】地域共生社会の実現に対する今後の取り組みは。

【答】縦割りを理由として断らない相談支援をはじめ、3つの支援を一体的に行う新たな事業について、内容、実施時期、推進体制などの具体的な検討や実施の準備を進める。



【問】児童発達支援センターが設置されるまでの取り組みは。

【答】専門性の高い職員を配置した相談事業と、児童の単独通所による通所事業を実施する。児童と保護者の不安や負担の軽減に努め、職員のスキル向上等を図り、開設に備える。

【問】食品ロスやマイクロプラスチックによる海洋汚染などへの対応は。

【答】次期環境基本計画では、食品ロスの実態把握などの取り組みを、一般廃棄物処理基本計画では、エコバツクの使用を推進する取り組みなどを実施する。

イオンモール進出断念の 場合を想定しているか

日本共産党豊川市議団代表 安間寛子



【問】イオンモール進出断念の場合を想定しているか。

【答】イオンモールと定期的に打ち合わせをしながら、関係機関と渋滞や交通安全対策の協議をしており、進出断念は想定していない。

【問】イオンモール進出による商業影響調査を実施する考えは。

【答】商工会議所等としっかりと協議を持つ場について話を詰めている。影響調査が必要であれば行っていく。



イオンモールの進出が予定される八幡地区

本市の認知症施策について

井川郁恵



【問】国の認知症施策推進大綱の中で注視すべき内容や取り組みは。

【答】予防と認知症バリアフリーの推進。高齢者が身近に通える通いの場の拡充や、認知症の人やその家族を継続支援するチームオレンジを整備すること。

【問】大綱を踏まえた市での認知症サポーターの活用方針は。

【答】大綱で全市町村での整備が目標とされたチームオレンジの設置に向けた取り組みとして、チーム員に必要な知識や対応スキルの習得を目指す研修を開催し、認知症サポーター養成講座修了者が受講する予定。

①認知症施策推進大綱

令和元年6月18日に認知症施策推進関係閣僚会議において決定された大綱。認知症の発症を遅らせ、発症後も希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人やその家族の視点を重視しながら、共生と予防を両輪として施策を推進する、としている。



小坂井地域交流会館（仮称）の完成イメージ

【問】小坂井地域交流会館（仮称）の位置付けと管理運営体制は。

【答】支所、児童館、生涯学習会館、図書館の4つの機能を備えた複合施設。管理運営は、各施設の現行条例の改正による対応とする。

【問】公共施設適正配置計画見直しの観点は。

公共施設適正配置計画の リーディング事業について

横田 光正



【答】建て替え及び大規模改修を迎える施設用途の割合、公共性の高い施設、八幡地区における公共施設整備の3点とする。

【問】新たな重点取組施設とモデルエリアの見直しは。

【答】現計画に、文化保健、体育の3施設を追記し、モデルエリアとして、一宮エリア、諏訪地区を追加予定。

【問】音羽川水系と御津川水系の河川整備計画における降雨量と潮位の考え方は。

【答】時間雨量49ミリメートルの流下と満潮時の水位を考慮し、堤防の高さを決めている。

行明橋架け替え工事の 今後の予定は

太田 直人



【問】行明橋架け替え工事の今後の予定は。

【答】ルート協議の回答を得た後、構造の事前協議、橋梁実設計、河川法の申請手続等の段階を踏む。堤防の掘削は国交省施行であり、国の予算措置の期間も必要。必要性、緊急性は十分認識しており、

②牛久保防災まちづくり地区計画

牛久保町の一部（約14.6ヘクタール）を対象に、安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。計画は、道路、災害対策、建築物等に関する規制を定める。また、緊急車両の通行や避難経路等を確保する。2年1月31日に新たな道路を位置付けた。

事業進捗に取り組む。

【問】空き地の草刈りを地元要望に頼らず状況把握し、行う考えは。

【答】所有者への強制力のある指導や草刈りはできないが、関係各課で連携し、繰り返しお願いするなど、所有者にご理解、ご協力いただけるよう対応する。

【問】牛久保防災まちづくり地区計画で地区施設とした狭あい道路の整備の進め方は。

【答】家屋の建て替え等のタイミングでのセットバックにより、路線として一定区間の整備が可能となった段階で地元要望をいただき、工事に着手したい。



豊川(とよがわ)

【問】西日本豪雨時、愛媛県肘川の野村ダムと鹿野ダムの緊急放流直後に、下流域が浸水した事例の認識は。

【答】放流は、ダムに流入する水量を上回らないことになっており、緊急放流が下流河川の氾濫などの直接の原因でないと認識している。

ダムの緊急放流直後の下流域の浸水事例の 認識 洪水ハザードマップの住民説明会の考えは

佐藤 郁恵



【問】緊急放流の面から、設案ダム建設を見直す必要性の考え方は。

【答】洪水調整機能が既存ダムと比較して優位と国から聞いている。また、多目的ダムであり、治水面だけでの見直しは適切でない。

【問】洪水ハザードマップについての住民説明会の開催の考えは。

【答】マップを更新し、冊子化した際には、前向きに検討する。

【問】プラスチック製容器・包装の資源回収に取り組む考えは。

【答】分別回収しても熱回収として処分しなければならぬ部分も多く、実施予定はない。

保育園での使用済み紙おむつを 保護者が持ち帰る理由は

倉橋 英樹



【問】保育園での使用済み紙おむつを保護者が持ち帰る理由は。

【答】園での便の状況や交換回数などを保護者が確認することで、体調や成長に気付き、愛着形成の基礎となる信頼関係を築くため。



と認識しているか。

【答】把握していない。近年3歳未満児の利用が増加し、持ち帰りに対して保護者の疑問や意識の変化が表面化していると認識している。

【問】衛生面の問題に

対する見解は。

【答】感染症の心配は承知している。

【問】園で処分する方

向で検討する考えは。

【答】現在は、保護者に子供の体調等に関心を持っていただくことに重きを置いているが、今後は、近隣市などの状況を情報収集するとともに、ニーズ調査の必要性を含め、課題を整理していく。

新型コロナウイルス対策に ついて

富田 潤



【問】どのように情報発信しているのか。

【答】ホームページの緊急情報を随時更新している。参加者が特定しているイベント等は、個別にお知らせしている。そのほか、とよかわ安心メールなどの情報ツールを使い、周知を図っている。



【問】職員の感染予防対応は。

【答】手洗いの徹底、ウイルス消毒、咳エチケット等を周知している。特に、窓口など市民の方々と接する職員については、マスク着用を徹底している。

【問】今後の対応は。

【答】国や県等の動向など最新の情報の収集に努め、関係機関と緊密な連携を図る。本市の対策本部を随時開催し、最新の情報やそれぞれの部署で発生する課題等を共有し、迅速にその対策を講じる。市民の皆様に対しては、最新の情報を発信していく。

本市の観光振興について

奥澤 和行



【問】外国人宿泊者の市内観光は。

【答】関西や関東へ旅行するケースが多く、本市の周遊につながっていない状況。外国人向けの観光パンフレットを全宿泊施設に設置。ホームページやまつり動画の作成を行い、市内へ足を運んでもらえ



るよう取り組んでいる。

【問】八幡地区における大型商業施設の進出を本市の観光振興に結びつける考えは。

【答】大変多くの人が訪れると予想される。絶好の機会と捉え、効果的な観光PRの展開や市内各所へ足を運んでもらう取り組みを検討し、観光振興につな

【問】さらなる観光振興に向けた今後の取り組みと課題は。

【答】3年度以降の新たな観光施策のあり方を検討する必要がある。次期計画として観光振興推進計画の策定作業を進める。

③地域完結型医療

地域にあるそれぞれの医療機関が、それぞれの特徴を活かし、患者に必要な治療や病状の経過などに応じ、役割を分担して治療を行うこと。

④地域医療支援病院

かかりつけ医を支援し、地域医療の充実を図る病院として、都道府県知事が承認した愛媛県豊川市民病院は、令和元年10月28日に承認済。

【問】市民病院の総合医療情報システムの更新に係る重要な取り組みは。

【答】患者・職員・経営の3点で達成目標を設定。今回見送ったスマートフォンでの外来患者の呼出機能は、引き続き導入を検討する。

【問】地域完結型医療における考え方は。

【答】患者に対し、かかりつけ医の意義などを丁寧の説明し、患者・家族に寄り添った入院調整を行う。また、地域医療の向上のため、地域医療支援病院としての役割を果たす。

【問】今後の救急医療に対する体制整備の取り組みは。

【答】救命救急医療、外傷医療、災害医療に対する体制強化は喫緊の課題。名古屋市立大学と相互連携協定を締結し、一層の人事交流を進め、医療の充実、医療を担う人材の育成、大規模災害時の相互間援助・協力を目指す。



【問】期日前投票所の増設による影響は。

【答】各中学校区の期日前投票割合の平準化が図られ、投票環境や投票率向上に寄与した。

【問】投票所見直し予定地区への対応は。

【答】2年度に移動支援の実施方針案を策定し、3年度に説明、4年度執行予定の参議院議員選挙から移動支援を導入し、投票区・投票所を見直す予定。

【問】本市が目指す多文化共生社会は。

【答】国籍や民族の違いにかかわらず、全ての市民の人権が尊重され、市民一人一人が地域社会の担い手として個人の能力を十分に発揮しながら様々な活動に主体的に参加し、活躍できる社会。

【問】多文化共生社会推進のための取り組み体制は。

【答】国際交流協会との連携を強化し、運営を支援するとともに、町内会とも連携を図る。

⑤フレイル

加齢により、心身の活力が徐々に低下した状態。要介護状態に至る前段階で、身体的、精神的、社会的な脆弱性などにより自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすい状態。

【問】後期高齢者医療制度の健診事業の実績と受診率向上の対策は。

【答】多くの方の健康状態の把握と、きめ細やかな保健指導。

【問】高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の取り組みは。

【答】後期高齢者医療と国保の特定健診結果を踏まえた健康状態の総合的な評価。通いの場やフレイルの予防のための啓発用リーフレットの作成。

市民病院のシステムの更新に係る重要な取り組みは

佐々木 和美



期日前投票所の見直し結果と、多文化共生社会に向けた取り組みは

中村 浩之



高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

加藤 典子



防災センターの啓発展示の狙いは

榎原 洋二



【問】防災センターの啓発展示の狙いは。

【答】1階のエントランスホールでは、プロジェクションマッピングによるハザードの投影、ドローンVR体験等が可能。防災啓発室には、キッズスペースを設け、遊びながら学べる。自由に触れて体



令和2年4月に開館した防災センター

験してもらい、備えることにつなげたい。

【問】一宮地区と御津地区の消防団再編の経緯と進捗状況は。

【答】少子高齢化等により団員確保が難しく、地元要望を受け、新体制へ移行。一宮地区では詰所の統廃合を進めており、御津地区では統廃合が完了した。

【問】消防署本署の現状と課題は。

【答】防災拠点施設としての耐震基準を満たさず、災害時の活動拠点の役割を果たすには課題が多い。庁舎整備の方向性を取りまとめ、具現化する基本計画等の策定を予定している。

児童クラブの小学校内設置の現状と展望は

今泉 淳乙



【問】クラブの小学校内設置の現状と展望は。

【答】44クラブ中、25クラブを設置。小学校内施設確保を推進し、困難な場合は近接地での建設に努める。校舎の改築等に併せ、教育委員会と調整し、小学校内設置に努めていく。



児童クラブでの学習の様子

善のための取り組みは。【答】職責を鑑み、公立保育所等の園長を課長補佐級とするなどした。民間保育所の運営法人には、人件費や特別保育の実施状況等により、基準に応じて補助金を交付している。

【問】民間保育所の人件費の確認方法は。

【答】補助金交付のため、予算書や職員配置状況等の資料を提出いただき、確認している。

【問】保育所の給食費無償化を行う考えは。

【答】年収360万円未満相当の世帯等は軽減しており、近隣市等の状況を注視しながら検討を加えていく。

国府駅前交差点の安全を考える会の設置の経緯は

神谷 謙太郎



【問】国府駅前交差点の安全を考える会の設置の経緯は。

【答】地元の総意として安全対策を求める要望書の提出があり、名古屋国道事務所に相談したところ、国、県、市の関係部局と一緒に議論する場の提案があり、会の設置となった。



国府駅前交差点

【問】開催状況は。

【答】元年度に3回開催。第1回は課題の洗い出し等を、第2回は対策案の検討等を、第3回は方向性のまとめをテーマに行った。

【問】会議で示された方向性に基づく今後の取り組みは。

【答】緊急度などから、取り組みを短期、中期、長期に分類。短期は、交通指導員の増員などで、2年度中までに全て実施。中期は、横断歩道の拡幅などで、短期の取り組みの効果などに応じて実施。長期は、横断歩道橋または地下道の設置で、引き続き前向きに検討する。